

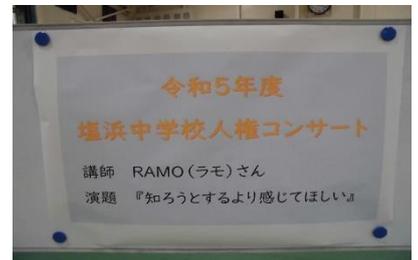


《教育目標》 人間性豊かで、創造力・実践力に富む生徒の育成

「人権」を考える

12月4日から12月10日までの一週間は、今年で75回目の人権週間でした。1948年の国連総会で世界人権宣言が採択された日である12月10日までの一週間は、みなさんでいろいろな差別などの人権問題について考える機会にしてもらおうためのものです。

人権は大切なもので、一人ひとり平等に持っているはずなのですが、残念ながら現在地球上では、ウクライナでパレスチナのガザ地区で戦争により多くの人々が理不尽に命を奪われていて、人権が大変軽く扱われています。それでは今戦争のない日本ではどうでしょうか？一人一人の人権が大切にされているのか？それらを確認するために、1年生は「障がい者差別」について、2年生は「外国人差別」について、3年生は「男女共生」について、それぞれの学年で人権学習に取り組みます。今回の塩中だよりは、この時期にみなさんで人権を真剣に考えた取組をご紹介します。



☆人権コンサート：RAMO☆

12月5日(火)、塩中PTA、塩浜地区社会福祉協議会人権部、塩浜地区市民センターの共催で今年度の人権コンサートが本校体育館で開催されました。当日は寒い日でしたが、体育館には多くの地域の方々にお集まりいただきました。内容は、RAMOという垣内章伸さん・楽守さん親子音楽ユニットによる歌とトークを聴きました。自閉症である楽守さんとのかかわりの中で父章伸さんが感じたことをオリジナルの曲を通して、私たちにストレートに伝えていただきました。次の歌詞は、当日コンサートで聴いた楽守さんが通っていた特別支援学校の送迎バス「宝くじ号」のことを唄ったものです。あなたはどう感じましたか？

「宝くじ号」RAMO

- | | | |
|---|--|---|
| <p>1 僕はキミを感じてなかった
壊れかけたキミに いらまれた
知ろうとするより感じるからだ
からっほの頭で焼きつけた
何も知らないほうがいい
感じる心 ただそれだけでいい
走れ 宝くじ号
派手なバスなのに見向きもされない
走れ 宝くじ号
宝を持ってるキミ達を乗せて
キミ達がいることが当たり前になれ</p> | <p>2 運動会 先生の横 コンビニ弁当
つまんでる子どもがいたよ
隠したい親に しゃべれないあの子
どんな味がしてるの？
周りでは笑い声
感じる心 ただそれだけでいい
走れ 宝くじ号
年がら年中 スモーク貼ってる
走れ 宝くじ号
それを剥がすためにただ唄い続ける
キミ達は窮屈な靴を履かされてるだけ</p> | <p>3 同情や情けがあるってことは
理解されてない証拠
無関心の壁は壊せない
それなら窓を開けよう
真剣から深刻に
無関心は最大の暴力となる
走れ 宝くじ号
あなたが知ってる障害って何？
走れ 宝くじ号
本当を知ることで輝きはじめる</p> |
|---|--|---|



☆人権フォーラム：1年生と塩小6年生☆

12月1日(金)午後、本校に塩浜小学校6年生を迎えて、人権フォーラム(人権について考える集い)を開催しました。この集いの目的は、①みんながぐしやすい塩浜にしていきたいため ②来年から中学校で一緒に過ごす小6と中1がより良い関係をつくるためでした。内容は、「ちがいのちがい」という教材を使って、「あっていい違い」「あってはいけない違い」についてそれぞれの意見を尊重しながら話し合いを進めました。

「ちがいのちがい」

- 1.Yさんはスカートが好きだが、Kさんはスボンが好きだ。
- 2.Cさんの会社では管理職がほとんど男性である。
- 3.Eさんはどこへでも旅行できるが、車いすに乗っているFさんは一人で電車に乗ることができない。



☆メディアリテラシーを通して人権を考える：2年生☆

12月8日(金)6限目、反差別・人権研究所から荻田実樹先生に来ていただき、2年生にメディアリテラシーを通して人権を考える出前授業をしていただきました。3年生のみなさんは昨年度に安田先生からお話を聞きましたね。メディアリテラシーとは、メディアから得た情報を見極め、正しく活用しコミュニケーションに応用するスキルのことです。次世代を担う中学生のみなさんには、必要とされる大切な能力のひとつです。



荻田先生からは、身近になったスマホやパソコンなどの扱いについて、ちょっとした判断ミスで取り返しのつかない事態(人の人権を奪うこと)につながってしまうことを実例を通して詳しく教えていただきました。この機会に身のまわりのスマホなどのICT機器の使い方やルールについて、それぞれのご家庭で話す機会を持っていただけたらと思います。